

国保料4つの改悪絶対阻止

訂正版

発行：和歌山県社会保障推進協議会
☎073-425-9355 FAX073-488-7623

高すぎる国保料引き下げを求め、意見を提出しよう！

1. 保険料の統一について

2027年度（令和9年度）までに保険料統一をめざすことと明記されていますが、保険料統一のためには、市町村によって格差がある「ひとりあたりの医療費」を均等化する必要があります。しかし、見直し（案）でも書かれているように、市町村間の医療費の格差は広がっているのが現実です。とても無理があると言わざるを得ません。

（意見例文）

保険料を県下で統一することによって保険料が大幅に増える住民も出ます。無理に統一しないで下さい。国に、もっと負担を求めて下さい。

2. 保険料の収納対策の強化について

保険料の収納率アップの対策として、地方税回収機構を活用した徴収技術の向上をかかげ、各市町村の収納率目標を引き上げます。収納率目標を達成した市町村には県からご褒美として支援金が交付されます。

今でも行き過ぎた取り立てが問題になっています。丁寧な相談活動を行うとともに、生活を脅かすような保険料回収や滞納処分はやめるべきです。

（意見例文）

顔の見える市町村が滞納者に対して丁寧な相談活動を行って下さい。生活を脅かすような保険料回収や滞納処分はやめて下さい。

国保が都道府県に一本化されて3年が過ぎようとしています。「運営方針」については3年ごとの見直しがされることになっており、今まさにその作業が行われています。昨年10月に開催された和歌山県の第1回国保運営協議会が見直し（案）を提示され、引き続きパブリックコメントが

募集される見通しです。つきましては、県社保協加盟団体から積極的に意見を提出して頂き、社会保障としての国民健康保険制度の充実を目指していきたいと思います。よろしくお願ひします。



高すぎる国保料に引き下げの声を上げよう！

3. 市町村事務の広域的及び効率的実施の取り組みについて

市町村によってバラツキのある「保険者事務」について統一化をすすめるとしています。厚労省が例示している中には、一部負担金の減免基準、保険料の減免理由・減免基準、短期保険証・資格証の交付基準の統一化がありますが、統一化することで住民福祉の後退が持ち込まれます。

(意見例文)

市町村事務の統一化として例示されている内容は、各市町村において住民のくらしや意見を聞いて決められているものです。統一化されることで住民サービスが後退することが懸念されます。統一化はやめて下さい。

4. 保険者努力支援制度について

国は保険者努力支援制度を設けて、成果の上がった県や市町村に支援金を交付しています。中身としては、特定健診・特定保健指導の実施率、糖尿病等の重症化予防の取り組み、後発医薬品の使用割合などが上げられています。

(意見例文)

国の保険者努力支援制度は、お金で県や市町村に医療費削減競争をさせるものです。医療にかかるのが悪であるかのようなやり方には反対です。地域医療構想による病院のベッド減らしによって住民の医療を受ける権利を奪わないで下さい。

これも重要！

コロナ禍での 保険料減免制度、傷病手 当の支給延長を

感染症の影響により一定程度収入が下がった方々に対して、国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民年金保険料を減免する措置がとられました。この期限は2020年度末までとなっています。この措置が引き続きとられるよう国に対して要請することが必要です。



運動の成果！

国保の未就学児に対す る均等割の5割軽減

年末に国保の未就学児に対する均等割の5割軽減が発表されました。高い国保料の引き下げを訴えてきた私たちの運動の成果です。

